

※ 第1回学校運営協議会は、新型コロナウイルス感染症への対策として、書面およびメールによる意見聴取としました。

(1) 意見聴取の期間、方法

令和2年5～6月の間、書面またはメールによる。

(2) 参加者の氏名

楠野 宣孝 委員      千葉 真也 委員      吉本 博志 委員  
加藤 昭弘 委員      佐藤 美智 委員      山城 郁雄 委員

(3) 議題

- ・平成31年度学校経営評価
- ・令和 2年度学校経営計画

(4) 協議内容 ※「意見なし」も含めて、全委員から回答をいただきました。

【平成31年度学校評価および令和2年度学校経営計画について】

- ・ 多くの項目において、改善された結果が出ているように感じた。
- ・ 経営計画はしっかりと立てられていると思う。(コロナの影響が心配)
- ・ 平成 30 年度から令和元年度への変化を見ると、大きく改善されている項目は1-(1)ア 授業方法等についての検討であることから、教員の授業向上への意識が高まって来ていることが分かる。しかし、(2)にあるように授業が分かり易いと思っている生徒は増加していない。したがって、授業改善に努力している効果はこれから出てくると期待される。
- ・ 評価すべきは2-(3)ウの遅刻者数の大きな減少である。このように指導の成果が数字に表れると次の取組みへの意欲が出てくる。今後、最も力を入れていかなければならないのは(4)-イ「学校に行くのが楽しい」の増加であろう。勤務校は女子校ということもあり、学校が楽しいと答える生徒は中学校で9割超え、高校でも8割を大きく超えている。何が楽しい・楽しくないのかの分析、例えば通学している目的や具体的な目標の有無、何か打ち込むことの有無などを調査してみることも良いかも知れない。
- ・ 高校時代は3年間、長い人生の4%前後で大変短い時間だが、日々同じ繰り返しの生徒にとっては長いもの。だからこそ我々教員からのマンネリに陥らせないような工夫も大切。何か刺激を与え、日々の変化を感じさせることも学校の楽しさを感じさせる一策かもしれない。例えば勤務校では教員のチーム(分掌とは関係のない)が、壁新聞を作成して教室掲示している。あるクラブのちょっとした頑張り、ボランティア活動の報告、留学生の活躍などをA4一枚に記事と写真を入れて、仲間の頑張りをみんなで共有している。記事の中には生徒の思いや感想を掲載した、面白いものとなっている。発行は不定期、現在まで約50枚作成した。今後は生徒有志に取材から記事作成までやらせてみようと思っている。

【学年・分掌マネジメント表について】

- ・ それぞれの分野にあったものになっていると思う。
- ・ 特にはありません。それぞれの分掌が「生徒の満足度を上げる」という思いを踏まえて、具体的な目標を設定してその達成に向かって努力してください。

(5) 議決事項

- ・平成31年度学校経営評価
- ・令和 2年度学校経営計画

(6) その他 諸連絡

次回 第2回学校運営協議会について

日時：令和2年11月13日(金)16:00～

場所：大阪府立港高等学校 1階会議室

※ 新型コロナウイルスの感染状況により、開催方法を変更することもあります。